

居住環境の良い街づくりを目指して

株式会社 別所材木店



大プロジェクトを夢みる別所社長

その後、経済も上向き、文化生活が向上する中、家を新しく建て直そうという住宅改造の気運も高まり第2、第3の住宅建築ブームがおとずれ、あまり不況の波に左右されないで事業を展開することができた。

△昭和47年横越に進出▽
昭和47年に沢海の工場が手狭になったので製材部門は沢海、製品部門は横越と別けて事業を展開してきた。

△取り巻く状況▽
過去2回のオイルショックや最近の木材市場では、南洋材や米材の環境問題などで木材輸入が30%減少して価格上昇しているなど取り巻く状況には厳しいものがある。

今年、村内で横越中央団地4棟の建売分譲を手がけ、茜ヶ丘ニュータウンでも13棟の建売分譲を予定。そのうち7棟については、今年の8月から建売をする。村外においても、日報住宅展に1棟、新津のひまわり団地に6棟の建売分譲をしている。

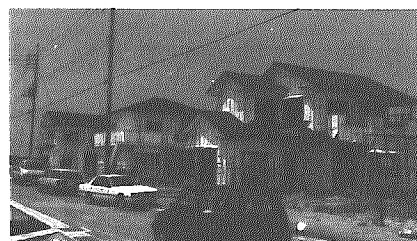
バブル経済の崩壊により、売れ行きを心配していたが、新津のひまわり団地につ

ては、金利の下がったこともあり、完売も間近い。以前には、新津のさつき の団地造成やさつきの駅の建設も手がけた。

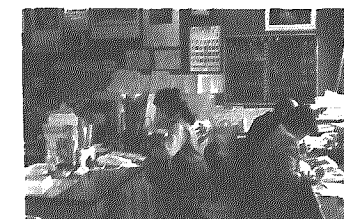
このように状況が悪い中でも順調に仕事をすることができた。

この業界全体は、10年で3分の1近く廃業した。逆にその分だけ仕事が増えているから波があまりない。△21世紀に向けて▽
現在大工さんの高齢化が進み若年層が少なくなってきた。これからは、在来工法の方に頼らない住宅建築を考えていかなければならない。また、現場職人も少なくなってきたので外国人労働者にたよらざるをえない時代が早晩くるのではなか。このような中でも木材、建材、建売分譲のほか、不動産部門も始めたことにより、売上をのばすべく意欲的に事業を取り組んでいる。社長自身、「あなたも住んで横越町に」ということで町づくりにも協力したいと言っている。

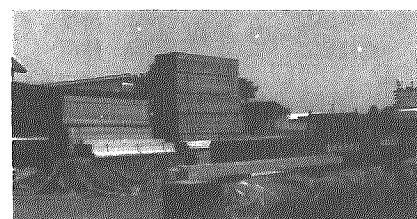
- 主な取引先
- ・個人
 - ・工務店 50店舗



茜ヶ丘ニュータウンの建売分譲地



事務所内



木材を安定供給

△創業は、大正11年▽
創業は、大正11年で70年以上になる。戦前、戦中、戦後の混乱期から経済復興の中、生活改善運動がおこり、材木ブームもおき、事業も順調に推移してきた。

木材・建材販売、建売分譲のほか 不動産部門で業績伸ばす

△昭和47年横越に進出▽
昭和47年に沢海の工場が手狭になったので製材部門は沢海、製品部門は横越と別けて事業を展開してきた。

△取り巻く状況▽
過去2回のオイルショックや最近の木材市場では、南洋材や米材の環境問題などで木材輸入が30%減少して価格上昇しているなど取り巻く状況には厳しいものがある。

今年、村内で横越中央団地4棟の建売分譲を手がけ、茜ヶ丘ニュータウンでも13棟の建売分譲を予定。そのうち7棟については、今年の8月から建売をする。村外においても、日報住宅展に1棟、新津のひまわり団地に6棟の建売分譲をしている。

この業界全体は、10年で3分の1近く廃業した。逆にその分だけ仕事が増えているから波があまりない。△21世紀に向けて▽
現在大工さんの高齢化が進み若年層が少なくなってきた。これからは、在来工法の方に頼らない住宅建築を考えていかなければならない。また、現場職人も少なくなってきたので外国人労働者にたよらざるをえない時代が早晩くるのではなか。このような中でも木材、建材、建売分譲のほか、不動産部門も始めたことにより、売上をのばすべく意欲的に事業を取り組んでいる。社長自身、「あなたも住んで横越町に」ということで町づくりにも協力したいと言っている。

●会社の概要

創業 大正11年
 創業者 沢海で創業開始
 昭和47年に横越に移転

法人設立 昭和35年12月
 資本金 一千万円

年商 10億円

社員数 16人(横越村在住6人)

業種 木材、建材販売
 住宅建売分譲

中学校部活紹介②

部活名 野球部
 部員数 43人
 モットー 真剣に練習に参加する



全員が一丸となって大会に望む野球部

ぼくたちの部は、地区大会、県大会出場を目指し、練習を行っています。コーチ(市野瀬一さん、小光興さん)からも教えてもらっています。また、今年からナイター施設も利用でき一層張り切って練習に励んでいます。今は、声も出ており、部全体がまとまっていて、とてもいいムードで部活動が行われています。このままチームワークを大切に、部員全員が一丸となって大会にのぞみたいと思っています。そうすれば、目標も自然と達成できると考えています。

地区・県大会目指して頑張る 野球、バレー、テニス部

部活名 バレーボール部
 部員数 一年生10人、二年生9人、三年生7人 計26人
 モットー 声を出して練習を頑張る、大会で全力を尽くす

バレーボール部の監督は、藤沢先生に今年から平田先生が加わり、一年生も10人が入部し一層賑やかになりました。先輩、後輩の仲もよく、伝統を大切にしています。4月から体力をつけるために基礎練習を頑張っています。

先輩方から引き継いだ「声を出す」という伝統を頭におきながら毎日の練習に取り組みんでいます。そして、チームワークで部員全員が団結し、大会で上位を目指しています。



チームワークで頑張るバレー部

たった13人だった部員が一年生17人の入部で30人の多人数になり、全員張り切って練習に励んでいます。今は、まだ先輩、後輩とがとけ込んでいないので、もたつく面もあります。だから早くまとまれるように沢山練習していきたいです。それと今は何よりも大会に向けて練習に取り組みんでいます。三年生は、残り少ない期間なので、やる気をこれまで以上に感じます。大会では、上位目標に一丸となって頑張りたいです。

部活名 テニス部
 部員数 30人
 モットー まじめにテニスに取り組み

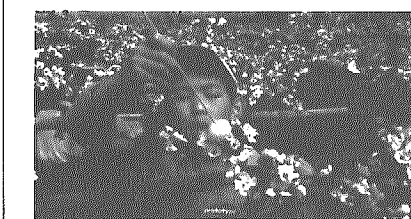


一年生の加入で活気づいたテニス部

横小いきいきスクール 6年生が梨の花粉づけを体験

横越小学校(校長 川島泰郎 児童数八五五人)では、平成五年度から七年度まで三年間で体験的活動(書く・作る・調べる・育てる・実物にふれる等)や地域の特性を生かした「ふるさと学習」をとり入れた学校運営を計画している。

このたび、六年生が、木津の佐藤栄太郎さんの梨畑で梨の花粉づけを体験した。慣れないこともあり、園主の奥さんから花粉づけのやり方について説明を受けた後、一斉に試みたが、なかなか思うようにいかないものの、「だのしかった」という感想が大半を占めた。今後、袋かけや収穫まで



梨の花粉づけを体験学習

村の特産物

料理紹介シリーズ③

横越村加工研究グループ
 △五目おこわの作り方▽

○材料

- ・もち米 1升
- ・乾しいたけ 10枚
- ・人参 中2本
- ・油揚げ 2枚
- ・こんにゃく 適宜
- ・筍(水煮) 500g
- ・しょう油 120cc
- ・砂糖 大さじ1
- ・酒 大さじ1
- ・だし汁 1カップ

△作り方▽

- ①もち米は、といいで一晩水にひたす。
- ②③の材料をこまかく刻み④で煮る。
- ③もち米は、ザルに上げて水を切り、蒸器で蒸す。15分くらい蒸したら、打ち水をし20分くらい蒸し、②の煮汁を水で適宜うすめて打ち水をし、5分程蒸して火を止める。最後に②の具を上に乗せ再び3分くらい蒸し、火を止めて、まんべんなく混ぜ合わせる。